



校長通信

第36号 H30.9.28（金）

しつけの三原則は「ハイの返事」「あいさつ」「はきものを揃える」（哲学者・教育学者 森信三）。
これができるば、他のことは自然と身につくそうです。お家ではいかがでしょうか。

教育目標「いのちを大切に、たくましく生きる児童の育成」

元気あいさつ運動のこと

朝の出会い、日中に顔を合わせたとき、放課後の別れなど、いつでもどこでもだれとも自然にあいさつができることを願っています。「元気あいさつ運動」を紹介します。



学級で話し合ってクラスのためを決めます
（4年生クラスの話し合い）

組	目標
6年1組	7人以上に明るく元気なあいさつをしよう。
6年2組	5人以上の人に朝あいさつする。
5年1組	相手の目を見て 笑顔で大きな声で おはよう前に5人以上に元気なあいさつをしよう。
5年2組	
4年1組	笑顔と大きな声で多くの人に朝の目を見て おはようからあいさつする。
4年2組	お返事も自分も笑顔で多くの人に元気なあいさつをしよう。 相手がうれしくなるあいさつをしよう。
3年1組	だれよりも早く、相手の目を見て 5人以上の人にしよう。
3年2組	だれよりも早く、相手の目を見て おはようあいさつしよう（5回以上）
2年1組	5人以上の人に 元気にあいさつしよう
2年2組	5人以上の人に自分から元気にあいさつ しよう。

各学級のめあてを表にして貼り出します。めあてが達成できたかどうかを帰りの会で確かめます。結果を○や▲のシールで表します。（写真は児童玄関に掲示された表）



毎朝、縦割り班ごとに児童玄関に立ちます。登校してくる児童に元気よく笑顔で「おはよう」。自分の声出しの練習にもなります。雨天時（右写真）は校舎内で行います。



元気よくあいさつができた児童を紹介します。笑顔で元気よくあいさつをした人を「あいさつ四天王」や「あいさつ名人」として掲示や昼の放送で紹介しします。全校集会では学級のあいさつ目標をがんばったクラスに賞状を渡します。

学校以外の場所でも、場に応じたあいさつができるように指導しています。各家庭においても、声かけをお願いします。